

地上レーザスキャナを用いた公共測量マニュアル(案)

■ 地上レーザスキャナを用いて測量を実施する場合の標準的な作業方法を規定

- 公共測量における3次元点群データの取得手法の拡大
- 狭い範囲における精密な地形図作成や3次元点群データの取得

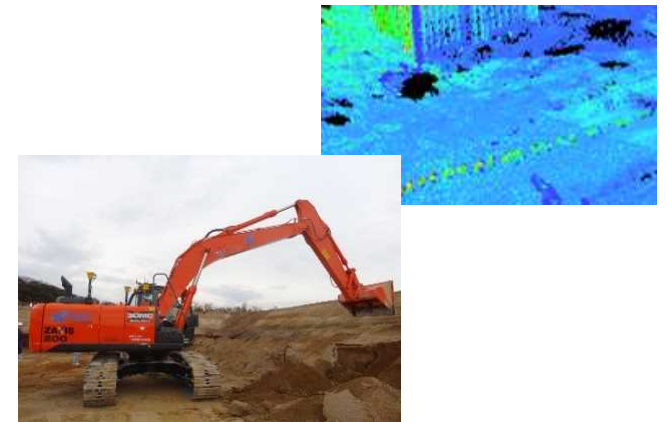
■ マニュアルの構成(2つの測量方法を規定)

① 地上レーザスキャナを用いた数値地形図の作成

- 500分の1以上の大縮尺数値地形図の作成に活用
- 狭い範囲における数値地形図の整備や更新に有効

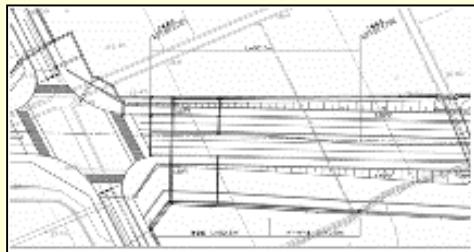
② 地上レーザスキャナを用いた3次元点群データの作成

- 地表面の精密な形状を3次元点群データとして取得
- 縦横断面図作成や土量管理等に利用

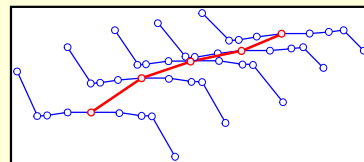


3次元点群データの活用

公共測量での利用

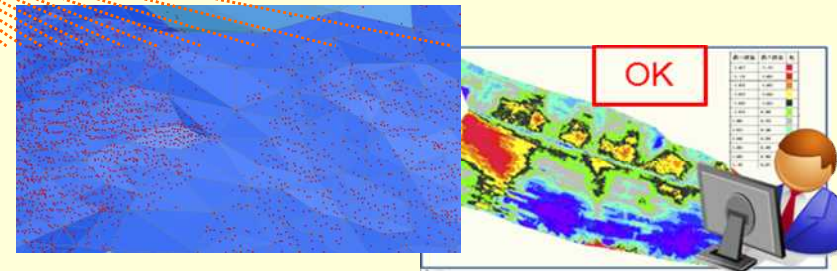


大縮尺地形図作成



縦横断面図作成

ICT工事での活用



3次元点群データによる面的な土量管理